

神経

責任者名：高橋 富久

学期：前期

対象学年：2年

授業形式等：講義

◆担当教員

高橋 富久(解剖学 I 教授)

◆一般目標 (GIO)

感覚器官と運動器官を結ぶ情報・指令の伝導路である神経系についてその形態と機能を学びながら、我々の神経系が生命活動を巧みにコントロールするための高度に発達した器官であることを理解し、今後の臨床歯科医学の学修に役立てる。

◆到達目標 (SBOs)

- ・中枢神経系と末梢神経系の区分と構造について説明できる。
- ・脳神経と脊髄神経の種類と走行について説明できる。
- ・自律神経系の機能と形態学的特徴について説明できる。

◆評価方法

- ・前期あるいは後期、またはその両方の適切な時期に実施する平常試験によって評価する。試験の日時、内容、方法等については後日連絡する。
- ・平常試験の他に、各自の理解度を可能な限り客観的に判断するための課題を課す場合もある。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
高橋 富久	金曜日 8:00~9:00 解剖学第 I 講座研究室		

◆授業の方法

遠隔授業で講義を行う。他教科との関係から、第3回は6月3日の9:00~9:50から授業を行う。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	人体解剖学改訂 42 版	藤田恒太郎	南江堂	2012
参考書	グレイ解剖学原著第 3 版	Richard L Drake 他	エルゼビア・ジャパ ン	2016
参考書	イラスト解剖学第 9 版	松村譲児	中外医学社	2017

参考書	カラー図解人体の正常構造と機能 全 10 巻縮刷版改訂第 3 版	坂井建雄 他	日本医事新報社	2017
参考書	口腔解剖学第 2 版	脇田稔・井出吉信 監修	医歯薬出版	2018
参考書	口腔顔面解剖ノート	井出吉信 監修	学建書院	2014

◆DP・CP

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を良く読み、授業の目的と内容を理解すること。授業後は、配布プリントに記載されている重要な解剖学用語について教科書および参考書を読みながら再度学習し神経系の構造について理解を深める。

◆準備学習時間

準備学習には授業時間の 2 倍以上の時間を充てること。

◆全学年を通しての関連教科

内臓 (2 年前期)

運動器 (2 年前期)

脈管・感覚器 (2 年前期)

組織学 (2 年前期)

組織学実習 (2 年前期)

生理学 (2 年前期)

人体解剖学実習 (2 年後期)

口腔組織学 (2 年後期)

発生学 (2 年後期)

発生学・口腔組織学実習 (2 年後期)

口腔生理学 (2 年後期)

生理学・口腔生理学実習 (2 年後期)

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
---	-----	----	----	------	--------	----	----------

1		5.13	2	1. 神経系とは 1)神経系の分類 2)神経系の細胞 3)中枢神経系の発生と区分 (教) pp.378-388	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系の大まかな機能について説明できる。 ・中枢神経系と末梢神経系の区分と機能の違いについて説明できる。 ・中枢神経系にみられる細胞の種類について説明できる。 ・中枢神経系の発生と区分について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4)身体を構成する組織と器官
2		5.20	2	2. 脳 1)大脳の区分 2)大脳皮質の諸中枢 (教) pp.395-431	<ul style="list-style-type: none"> ・大脳半球の区分について説明できる。 ・脳溝と脳回の種類について説明できる。 ・大脳皮質の機能局在について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4)身体を構成する組織と器官
3		6.3	1	2. 脳 3)大脳髄質 4)大脳核 (教) pp.395-431	<ul style="list-style-type: none"> ・大脳髄質の構造について説明できる。 ・大脳内にみられる線維連絡について説明できる。 ・大脳と下位中枢の線維連絡について説明できる。 ・大脳核の種類と機能について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4)身体を構成する組織と器官
4		6.3	2	2. 脳 5)間脳 (教) pp.395-431	<ul style="list-style-type: none"> ・間脳の位置と区分について説明できる。 ・視床上部, 視床, 視床下部の位置とそれぞれの構造について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4)身体を構成する組織と器官
5		6.10	2	2. 脳 6)脳幹 7)小脳 (教) pp.395-431	<ul style="list-style-type: none"> ・脳幹の構成と機能について説明できる。 ・中脳, 橋, 延髄の構造について説明できる。 ・小脳半球の構造と機能について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4)身体を構成する組織と器官
6		6.17	2	3. 脊髄 1)脊髄形態 2)脊髄分節 (教) pp.388-395	<ul style="list-style-type: none"> ・脊髄の構造と機能について説明できる。 ・脊髄分節の構造の違いについて説明できる。 ・大脳皮質と脊髄を走行する代表的 	高橋 富久	C-3-4)身体を構成する組織と器官

					な神経伝導路について説明できる。		
7		6.24	2	4. 脳脊髄液 1) 髄膜 2) 脳室 3) 脳脊髄液 (教) pp.431-441	<ul style="list-style-type: none"> ・硬膜, クモ膜, 軟膜の分布について説明できる。 ・脳室の種類と脳室間の連絡について説明できる。 ・脳脊髄液の流れと硬膜静脈洞との関係について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4) 身体を構成する組織と器官
8		7.1	2	5. 脳神経 1) 種類と分類 2) 脳神経核 3) 嗅神経 4) 視神経, 内耳神経 5) 動眼神経, 滑車神経, 外転神経 (教) pp.449-467	<ul style="list-style-type: none"> ・12対の脳神経の機能的な分類について説明できる。 ・脳幹にみられる脳神経核の機能的な分類について説明できる。 ・嗅神経の走行と機能について説明できる。 ・視神経, 内耳神経の走行と機能について説明できる。 ・動眼神経, 滑車神経, 外転神経の走行と機能について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4) 身体を構成する組織と器官 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能
9		7.8	2	5. 脳神経 6) 副神経, 舌下神経 6. 三叉神経 1) 特徴 2) 眼神経 (教) pp.449-467. 三叉神経	<ul style="list-style-type: none"> ・副神経と舌下神経の走行と機能について説明できる。 ・三叉神経の支配領域と三叉神経核の種類について説明できる。 ・眼神経の枝の走行と機能について説明できる。 ・毛様体神経節の位置と機能について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4) 身体を構成する組織と器官 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 E-2-2) 口腔領域の構造と機能
10		7.15	2	6. 三叉神経 3) 上顎神経 (教) pp.449-467	<ul style="list-style-type: none"> ・上顎神経の枝の種類と走行について説明できる。 ・上顎神経の支配領域について説明できる。 ・翼口蓋神経節の位置と機能について説明できる。 	高橋 富久	C-3-4) 身体を構成する組織と器官 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 E-2-2) 口腔領域の構造と機能
11		7.22	2	6. 三叉神経 4) 下顎神経 (教) pp.449-467	<ul style="list-style-type: none"> ・下顎神経の枝の種類と走行について説明できる。 ・下顎神経の神経領域について説明 	高橋 富久	C-3-4) 身体を構成する組織と器官

					<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳神経節と顎下神経節の位置と機能について説明できる。 		<p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
12		7.29	2	<p>7. 顔面神経</p> <p>1)種類と特徴</p> <p>2)味覚の神経支配</p> <p>3)腺の神経支配</p> <p>(教) pp.449-467</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顔面神経の構成について説明できる。 ・顔面神経の枝の種類, 走行および機能について説明できる。 	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
13		8.5	2	<p>8. 舌咽神経と迷走神経</p> <p>1)種類と特徴</p> <p>2)舌の神経支配</p> <p>3)耳下腺の分泌</p> <p>(教) pp.449-467</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・舌咽神経と迷走神経が関係する脳神経核の種類と機能的な特徴について説明できる。 ・舌咽神経と迷走神経の主要な枝の種類, 走行および機能について説明できる。 	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
14		8.12	2	<p>9. 脊髄神経</p> <p>1)種類</p> <p>2)前根と後根</p> <p>3)前枝と後枝</p> <p>4)脊髄神経叢</p> <p>(教) pp.467-484</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・31対からなる脊髄神経の種類を説明できる。 ・前根と後根の機能的な違いについて説明できる。 ・前枝と後枝の支配領域の違いを説明できる。 ・脊髄神経叢の役割と種類について説明できる。 ・脊髄反射の種類と反射路について説明できる。 	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p>
15		8.19	2	<p>10. 自律神経</p> <p>1)交感神経</p> <p>2)副交感神経</p> <p>(教) pp.484-490</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交感神経と副交感神経の形態的・機能的な違いについて説明できる。 ・頭頸部, 胸部, 腹部, 骨盤部に分布する交感神経と副交感神経の枝の種類, 走行および機能について説明 	高橋 富久	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と</p>

					できる。		機能
--	--	--	--	--	------	--	----

